

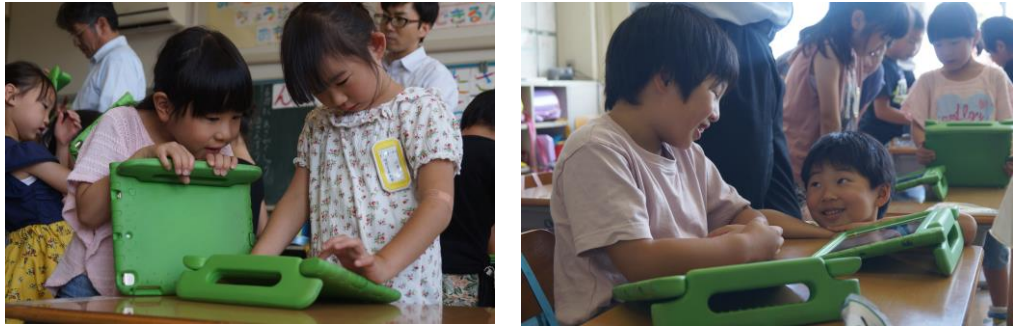


「ICT機器の活用」による授業実践例

学 年	1 年	実践者	M.T…担任：(村越 梨紗) S.T…ICT支援員：奥山直子	
教 科	さんすう	単元名	のこりはいくつ ちがいはいくつ	
ICT 活用の ねらい	【教員による活用】		【児童による活用】	
	<input checked="" type="checkbox"/> 1-① 興味関心を高める <input type="checkbox"/> 1-② 課題を明確につかませる <input type="checkbox"/> 1-④ 知識の定着を図る <input type="checkbox"/> 1-③ 思考や理解を深める		<input type="checkbox"/> 1-① 情報を収集・選択する <input type="checkbox"/> 1-③ 文や図表にまとめる <input checked="" type="checkbox"/> 1-② 発表したり表現したりする <input checked="" type="checkbox"/> 1-④ 知識や技能の習熟を図る	
活用する機器 ソフト コンテンツ等  	使用機器		ソフト・アプリ	コンテンツ
	<input type="checkbox"/> タブレット (windows) <input type="checkbox"/> ノートPC・デスクトップPC <input type="checkbox"/> 液晶テレビ <input type="checkbox"/> 書画カメラ (実物投影機) <input type="checkbox"/> 電子黒板 <input type="checkbox"/> その他		*PC ソフト名	*コンテンツ名
	その他		*アプリ名	*アプリ名
学習形態	<input checked="" type="checkbox"/> 一斉学習 <input type="checkbox"/> グループ学習 <input checked="" type="checkbox"/> 個別学習			
活用の場面・方法 活用のポイント	<input type="checkbox"/> 導入の場面 <input checked="" type="checkbox"/> 展開の場面 <input type="checkbox"/> ふり返りの場面			
	◎場面：問題作り・問題解き ◎方法：問題作成者はロイロノートにスタンプを押し、問題を作る。問いたいことを文字で表す。次のノートに式・答えを記入する。解答者は、問題を見て、聞いて式と答えを求める。 ◎ポイント：問題作りを楽しみ、ひき算の定着を図る。			
児童の学びや 活用の様子 (写真等)	 <p>タブレットを通して行った問題作り・問題の出し合いは、抵抗なく楽しく積極的に進んでいった。戸惑っている児童に対しては、ヒントを出し合いながら答えを導き出していた。</p>			
実践を通して 感じたこと	○問題作りに対する抵抗感はなく、楽しみながら活動していた。 ○ICT機器を使うことで、意欲の向上につながり、授業後もタブレットでの問題作りを行う児童もいた。 ○文字を書いたり、絵を描いたりすること自体に時間を要する1年生にとっては、ロイロノートでスタンプを押しての学習は、問題を作ったり解いたりする時間を十分に確保することができ、よい方法であった。 △意欲は高めることができたものの、「ひき算」の意味を確実に理解できた児童は少なかった。 △ICT機器を使うねらいをしっかりと決め、そのねらい達成のために教師の仕掛けが必要だと感じた。(ひき算の定着を図る場合：ひき算の意味を理解しておく。など) △ICT機器を使うことが目的ではなく、児童の学びを深めるためのICT機器使用であり、どの時間で活用するのか吟味する必要があると感じる。			